

甲府市ボランティアだより

やってみよう！ボランティア

ボランティア団体 ・グループ紹介

2008年秋号 No.58

甲府市内大学ボランティアサークル

ザ ピース フェローズ

「The Peace Fellows」

山梨英和大学

ザ・ピース・フェローズは、普通の大学内サークルとは少し異なり、「独立団体」という形態で活動を行っています。独立団体とは、生徒ではなく大学が目的を持って作った団体です。(フェローズ以外には、学生会報委員会・国際交流クラブ・Ringer Ringer=ハンドベルの3つがあります。)

活動は、ミッション系大学にあるチャペルセンターという施設を使う、礼拝(チャペルアワー)や外部の方々を招いた講演会、コンサート、クリスマスツリーの点火祭の運営などを行う活動のお手伝いをすることです。

具体的活動は、学外でのゴミ拾い・災害地への募金活動・保育ボランティア(甲府市ボランティアセンターからの依頼もあります)など幅広いボランティア活動を行っています。

部員は、現在4年生(5名)3年生(4名)2年生(12名)1年生(4名)の計25名で活動しています。その内男子は5名と女子率の高い団体ですが、皆で仲良く楽しく!アットホームな雰囲気のあるところが自慢です☆

平成19年2月から、市内大学ボランティアサークルネットワークの一員として、他のサークルの仲間との交流も深めています。今後も、ボランティア活動を通じて、多くの方々と交流を持ち、内容豊かな団体にしていきたいと思っています。



忍野村にて
ごみ拾い



点火祭で



笛吹清流
公園にて

あったかいのがうれしいね!!

わ あげよう ボランティアの輪

心の声を聴く
傾聴ボランティアわかば

ボランティアって
いいなあ!

今、私たちの暮らしのなかでは、様々な病気が存在します。
特に近年、「こころ」を病む人の増加が伝えられ、人間関係が及ぼす影響の大きさに誰もが驚き、深刻な社会問題として、とらえられています。
話し相手がいたら、もっと違っていたかもしれない。こんな声をよく耳にします。
そんな時、結成されたのが、「傾聴ボランティアわかば」なのです。
このグループは、平成20年2月、甲府市ボランティアセンター開催「傾聴ボランティア養成講座」に参加した方の中で、さらに継続して学びたい、実践したいという意欲的な方々の集まりです。
現在、メンバーは9人、毎月1回学習会を開催しながら、活動を進めています。
「時には、ただ何も言わず、聴くだけ」のボランティア。その存在はボランティアさんを持ちわびる方にとっては、自分を受け止めてくれる唯一の癒しの存在であることでしょう。
これからの活動が大いに期待されます。



ふれあい ゆくもつわくわく広場

=「共に生きる」大切さを学ぶ! =

期日・会場は、毎年8月第1土曜日 甲府市西公民館

障害の有無にかかわらず、市民誰もが相互に人格の個性を尊重し、「共に生きる」ことの大切さを学んでもらうため、多くの関係者からの要望に応え、平成18年度から始まった「ふれあいチャレンジフェスタ」が、今年も開催されました。

甲府市ボランティアセンターが主催となり、中・高校生の企画と協力団体の参加を得て、お茶席・ヨーヨー釣り・手作りおもちゃなどのたくさんの催し物が開設されました。中でも学校林から切り出した間伐材を利用したコースター作りは、大人気。また、大ホールのステージでは、オープニングで和太鼓が鳴り響き、続いてダンス・ピアノ演奏・新現代舞踊等々と盛りだくさん。飛び入りのステージ出演団体の申込がある等、画期的な交流広場となりました。

夏の日みんなで開催し、楽しい時を過ごしていました。

今後も、日頃思っても、なかなか体験できない斬新なイベントとして、参加者が増え、内容が充実していくことを期待します。



ボランティア豆知識



①有償ボランティア

最近「有償ボランティア」という言葉が使われます。
有償⇒ボランティアをやった報酬という意味ではありません。

ボランティア活動に対しては無料ですが、交通費・食費は出しますという、ボランティア募集があります。

社会貢献となる活動で、自ら進んで行動を起こせば、それだけで十分に立派なボランティアなのです。

逆に、無償=責任が無いということでもありません。

②ボランティア基金

企業・団体・個人等、広く資金提供のご支援を得て、ボランティアとしての事業への参加に基金を使って、対象団体に助成する制度です。

対象団体は、選考方法・選考基準に基づいて決定されます。

基金の募集、基金への応募は、インターネットからの情報が一番幅広いですが、お近くの社会福祉協議会でも情報提供しています。

市さんのおじゃまします

・・・永照寺ボランティアグループ「マイトレーヤ」を訪ねて・・・

阪神・淡路大震災を機に、神戸への支援活動からスタートした、高畑にある永照寺のボランティアグループの活動について、代表の同寺、吉田永正住職にお話を伺いました。

<いまも、阪神・神戸へ>

私たちのグループは、寺が運営する幼稚園の保護者の有志と、一般協力者がメンバーです。

神戸に仮設住宅があった頃は、お米を配ったり、餅つきや掃除、心のケアがおもな活動でした。毎年1月17日には神戸へ出かけて、法要を行い、長田地区の仮設にいた人たちと交流しています。寺関係のボランティアさんのご協力で、オリジナルのカレンダー2000部を手作りし、送り続けて12年になります。

<病院ボランティア>

病気を苦にして自殺した、身寄りのない方を寺で供養したご縁で、その方の貯金が遺言どおり布施されましたので、病院ボランティアで活用させていただきました。

病院の小児科病棟に、絵本や紙芝居、テーブル・椅子を、またホスピス施設には、直接患者さんと心の会話を通し、心の安らぎを求める人々のため、本と本棚を寄付しました。私自身が喉頭がんを患い、幸い生還はしましたが、心のケアは大事だと痛感しました。病める人たちの心の支えが出来ることは、支える側の喜びでもあります。

<地域の高齢者と幼稚園児との交流>

高齢者は、地元石田地区の方々と、園児は、当永照寺幼稚園の子どもたち。「ほうとうづくり」「もちつき」「おにぎりパーティー」を子どもたちも手伝い、心の交流と、生活文化を学ぶことで、生き生きとしたひと時を過ごします。

<その他、あれこれ>

- 寺をお預かりしていますので、宣伝は差し控えますが、寺では「有縁共同墓苑」を建立しています。他人の幸福を願い、その人が喜ぶことによって、自分も喜び幸福になれる、そんな思いからです。
- ソマリア難民支援の頃設立した育英会は、毎年奨学生を募集して、支援しています。
- 授産施設へお手伝いしたり、高齢者福祉施設でお話をしたりと、時間のあまる限り活動の場を広げています。



今年環境元年、市民も環境に関心を持ち、二酸化炭素削減に参加しましょう!!

「美しい地球」を子どもたちに残すために、私たちに何ができるのか、一緒に考えてみませんか?

- 日時 平成20年10月27日(月) 14:00~16:00(開場13:30)
- 講師 NPO法人『地球村』高木善之氏
- 会場 甲府市総合市民会館芸術ホール
- 参加費 500円
- 主催 甲府市ボランティア団体連絡協議会
環境を考える会「サークルかやの実」
- 後援 山梨日日新聞社・山梨放送
- 連絡先 055-223-1061
- その他 手話通訳付・託児あり

「心の健康ボランティア」養成講座開催

一人ひとりが充実した日々を得て、心の健康を保つには、周囲が心のバリアを取り除き、社会的な支援を一層充実していくことが重要と考えられます。

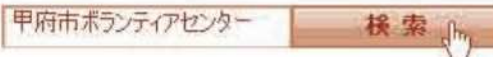
そこで、甲府市ボランティアセンターでは、心の健康づくりボランティアを目指して、養成講座を開催いたします。

- 日時 平成20年10月8・15・22・29日 いずれも(水) 計4回
午後1時30分から午後4時
- 会場 甲府市遊亀公民館
- 受講人数 30名
- 申し込み 先着順
甲府市ボランティアセンター
TEL・FAX 055-223-1061

「ボランティア博2008inこうふ」
盛大に終了!!

世代を超えたボランティア同士の交流を深め、ボランティア活動の充実感を共有したイベント「ボランティア博2008inこうふ」の特集は、次号で詳しくお知らせ致します。

甲府市ボランティアセンター
ホームページが簡単に見られます



インターネット接続 → ヤフー → 文字入力「甲府市ボランティアセンター」検索 → ホームページが開きます。

♡ 「甲府市ボランティアだより」は、ホームページ内にもPDFの形で載っています。バックナンバーもご覧になれますので、ご感想をお待ちしております。
甲府市ボランティアセンターまでTELかFAXでお寄せ下さい。♡

★ご協力ありがとうございました(敬称略)

- ◎使用済み切手……シニアボランティア「こすもす」 深沢友憲(寿町) 司マッサージ 石原靖子(羽黒町) かえて会
こうふ・パオの会 働じょうほく物流 輪舞曲(ろんど)の会 山梨英和大学 甲府市民生児童委員協議会
山梨県中小企業団体中央会(臼田あけみ) ヘアサロンハラダ(若松町) 望月富士子(住吉) 漆間和代(北新)
ファミリーマート甲府千塚店 川柳「轍」堤恵子(善光寺)
- ◎牛乳パック……矢崎隆(池田) ダンスサークル「花水木」 吉野和子・やまのうちか(湯村) 市村浪江(伊勢)
小松松江(城東) 石川あき子(愛宕町) 山王辰則(青葉町) 絵手紙ボランティア「なごみ」 雨宮喜代子(伊勢)
- ◎他の収集品等(使用済みテレホンカード・ベルマーク)
こうふ・パオの会 ヘアサロンハラダ(若松町) 山王辰則(青葉町) シニアボランティア「こすもす」

私が旅先で聴いた言葉

こもれび

- 1日を幸に過ごしたかったら
お酒を飲みなさい
- 1週間を幸に過ごしたかったら
旅に出なさい
- 1年間を幸に過ごしたかったら
結婚しなさい
- 1生を幸に過ごしたかったら
友人を作りなさい

(編集ボランティア 鮎沢ゆき子)

この情報誌に関する問い合わせ先

甲府市役所南庁舎1号館 3階 甲府市ボランティアセンター

